

リュウキュウバライチゴ

か めい
科名 バラ

べつ めい
別名 オオバライチゴ

がくめい
学名 *Rubus rosaefolius* subsp. *maximowiczii*



く ぶん
区 分 木本類

ぶん ぶん
分 布 本州 (千葉、静岡、三重他)、四国、九州、沖縄等

は かたち
葉 の 形 卵形、被針形

は ぶち
葉 の 縁 鋸歯

は さき
葉 の 先 鋭形、鋭尖形

は しゅるい
葉 の 種類 奇数羽状複葉

は つきかた
葉 の 付方 互生

は き ぶ
葉 の 基部 円形、ハート形

み しゅるい
実 の 種類 集合果

は な がくいろ
花・萼色 白色

せつ せい
説 明 日当たりの良い山すそや林道の脇などに見られる落葉の小低木です。葉は小葉が3枚から7枚集まった奇数羽状複葉で、頂小葉は卵形または被針形です。茎などには小さいトゲがあります。径約2.5-3 cmの白色の花が咲きます。実は球形で赤く熟します。